

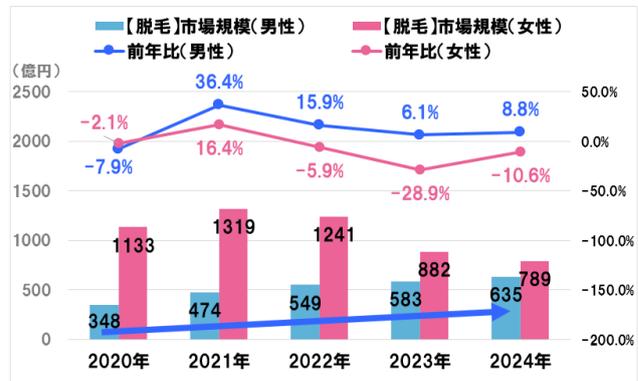
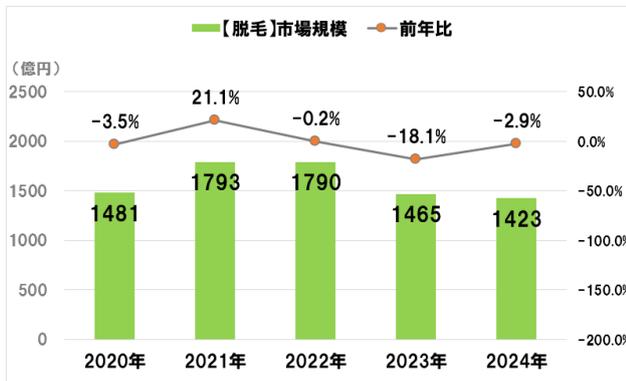
美容センサス 2024 年上期「エステサロン【脱毛】編」

男性の脱毛市場が拡大。2024 年は 635 億円で、4 年で約 1.8 倍に 男性の「V ライン」脱毛が増加し、「ひげ」脱毛にほぼ並ぶ

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』（<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>）は、全国の人口 20 万人以上の都市居住者のうち、15～69 歳の男女 1 万 3,200 人を対象に、過去 1 年間におけるエステサロン【脱毛】の利用に関する実態調査を実施しましたので、その結果をご報告いたします。

■市場規模推計※（消費者ベース）

美容センサスから推計した市場規模は、1423 億円（前年比 2.9%減）で、男性の市場規模が右肩上がりに拡大（635 億円、前年比 8.8%増）。



※サロン利用率、1 回あたり利用金額、年間利用回数と人口推計（総務省統計局）からの推計（P4 参照）

- ✓ 男性の脱毛サロン利用率が増加傾向。施術部位は「V ライン」脱毛が 29.3%（前年差 3.0 ポイント増）で 2 位に。1 位の「ひげ」脱毛（30.5%）に迫る（P2-3）。
- ✓ 40 代女性の 1 回あたり利用金額が大幅に上昇し、8,305 円に（前年比 24.1%増）。「I ライン」「O ライン」「ヒザ下」「ヒザ上」などの脱毛が増加（P2-3）。

研究員からのコメント



男性の脱毛利用が広がる & 女性は 40 代の美容投資意欲が増加

脱毛サロンを利用する男性がここ 4 年で増加傾向にあります。「ひげ」脱毛など、身だしなみや肌荒れを防ぐことを目的に利用者が増えていると考えます。また、脱毛部位にも変化が。「ひげ」がメインの脱毛部位でしたが、「V ライン」が増加し利用率が「ひげ」に迫ります。デリケートゾーンのケアにも関心が高まっていることがうかがえます。

女性の 1 回あたり利用金額低下の背景には、低価格のセルフ脱毛サロンの増加などがありそうです。一方で、40 代女性の脱毛サロンの利用金額は上昇し、施術部位もデリケートゾーンや脚を中心に増加しています。サロンが利用しやすくなることで、これまで手がかけられなかった部分のケアを「今やっておきたい」というニーズが高まっているようです。（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）

本件に関する
お問い合わせ先

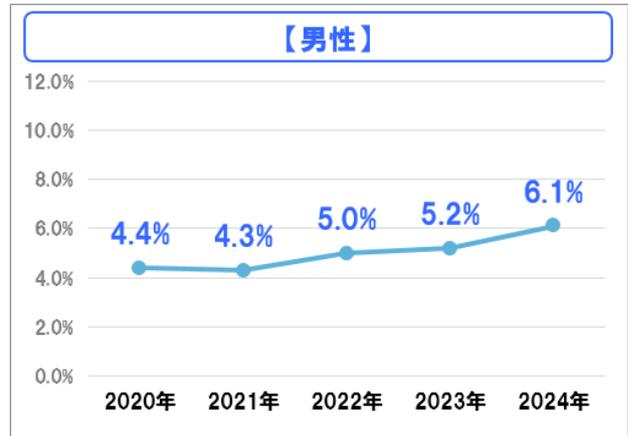
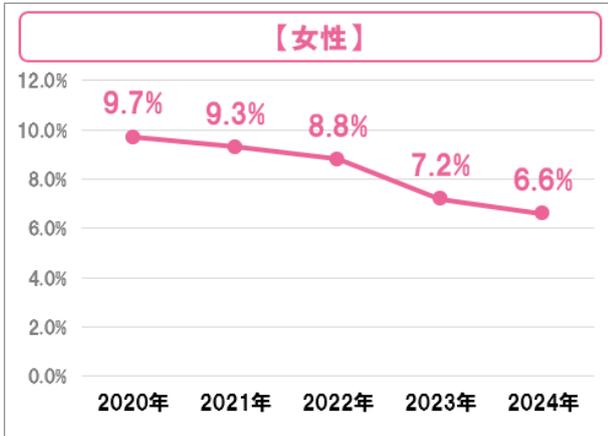
<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■1年以内のサロン利用率

女性の利用率が減少傾向で、男性の利用率が増加傾向。

Q. あなたは以下の美容関連サロンを、どの程度の頻度で利用していますか。（「過去1年間に1回以上利用」の割合）（いずれの年も男女各 n=6,600/各単一回答）

【脱毛】利用率



■1回あたり利用金額

女性の利用金額は2021年以降、低下傾向だが、40代は前年から24.1%上昇し8,305円に。

男性は前年から365円低下するも、ここ5年では二番目に高い金額。

Q. サロンを利用の際、1回あたりどのくらいの費用をかけていますか。（脱毛利用者/実数回答）

【脱毛】1回あたり利用金額の平均



【脱毛】1回あたり利用金額の平均（年代別）

性別	n数	2024年 (円)	増減率 (%)
女性			
15~19歳	36	8,416	0.4%
20代	181	7,626	-9.0%
30代	100	6,583	-10.0%
40代	82	8,305	24.1%
50代	24	5,055	-29.3%
60代	10	8,727	11.9%

性別	n数	2024年 (円)	増減率 (%)
男性			
15~19歳	34	9,147	12.2%
20代	131	6,538	-8.9%
30代	99	6,837	-8.9%
40代	94	7,561	-1.9%
50代	33	8,268	-12.2%
60代	5	7,167	0.0%

※人口統計比率に合わせた集計（ウェイトバック集計、以下 WB）前 n=30 以下の年代は、斜体グレー表示にしている。前年のみ WB 前 n=30 以下の場合は「増減率」のみ斜体グレー表示

■1年以内の施術部位

女性の施術部位のトップ5では、「Iライン」「Oライン」が前年から増加。男性は「Vライン」が増加。1回あたり利用金額が大きく上がった40代女性のトップ7では、ほとんどの施術部位が前年を上回っている。

Q. 過去1年間、あなたがサロンを利用した際に施術を受けた部位をお選びください。（脱毛利用者／複数回答）

【脱毛】施術部位

【女性】施術部位 トップ5 (n=437)		2024年 (%)	前年差 (pt)	【男性】施術部位 トップ5 (n=400)		2024年 (%)	前年差 (pt)
1位	ワキ	35.0	-5.5	1位	ひげ	30.5	-1.6
2位	Vライン	30.9	-	2位	Vライン	29.3	3.0
3位	Iライン	28.1	1.6	3位	ワキ	25.0	-6.8
4位	Oライン	25.2	1.9	4位	ヒザ上	23.3	-1.6
5位	ヒザ下	23.6	0.7	5位	ヒザ下	22.5	-1.5

【脱毛】40代女性の施術部位

【40代女性】 施術部位 トップ7 (n=82)		2024年 (%)	前年差 (pt)
1位	ワキ	47.8%	3.4
2位	Iライン	43.5%	8.6
3位	Vライン	39.1%	-5.3
4位	Oライン	37.7%	7.5
5位	ヒザ下	31.9%	8.1
6位	ヒザ上	29.0%	8.4
7位	ヒジ下	26.1%	-2.5

■調査概要

調査名：「美容センサス 2024 年上期《エステサロン【脱毛】編》」

調査手法：インターネットリサーチ

調査期間：2024 年 2 月 1 日（木）～2 月 12 日（月）

調査対象：全国、人口 20 万人以上の都市に居住する 15～69 歳の男女各 6,600 人

※図表内の%の値は小数第 2 位を四捨五入しているため、差分や合計値において、単純計算した数値と合致しない場合があります。

※実数回答設問では、想定範囲から外れた値を「外れ値」として除外して集計しているため、記載している n 数と算出に用いた基数が異なる場合があります。

【人口統計比率に合わせた集計（ウェイトバック集計）】について

今回より人口統計比率に合わせた集計（ウェイトバック集計）に変更しています。（2020 年～2023 年のデータも再集計）

詳細は「美容センサス 2024 年上期《エステサロン【脱毛】編》報告書」をご参照ください。

P1【市場規模推計 算出の方法】

男女各年代の市場規模推計の合算値（15～69 歳・男女合計）

市場規模推計（円）

=人口（人）^{※1}×1 年以内のサロン利用率（%）^{※2}×1 回あたり利用金額平均（円）^{※3}×年間利用回数平均（回）^{※4}

※1 人口データは人口推計（総務省統計局）を使用。年齢（5 歳階級）、男女別人口—総人口（各年 10 月 1 日時点）。調査年の前年 10 月 1 日時点の人口を使用。

※2※3※4 ホットペッパービューティーアカデミー「美容センサス 2024 年上期《エステサロン編》資料編」より使用。

■『ホットペッパービューティーアカデミー』とは

美容に関する調査研究機関。「美容の未来のために、学びと調査・研究を」をビジョンに 2014 年に開校しました。美容サロンのマネジメントやマーケティングを学ぶ「経営セミナー」、美容センサスなどの「調査研究」、訪問美容・女性活躍・SDGs などの情報提供・イベント開催などをはじめとした「サステナビリティ活動」を柱に、全て無料で美容業界へ情報発信しています。これらの活動により、美容業界の成長に寄与する場の提供を目指しています。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>